



2023年 9月 28日発行 会報第1162号

## 今週のプログラム

(2023年 9月28日 第1162回例会)

移動 お月見例会

担当：山本 友亮 親睦委員長

## 次週のプログラム

(2023年10月5日 第1163回例会)

ガバナー補佐対応アセンブリー

担当：藤田 芳浩 会長

## 第1161回例会 (2023年 9月21日) の記録

### <会長の時間>

藤田 芳浩会長

今週も会長の時間で野球の話は、何の問題も無く大きな声でプロ野球のお話が出来ます、昨晚から関西は盛り上がっています！ こうなると日本シリーズに是非とも関西の球団が両方とも頑張っ  
て出て欲しいと思います。

さて、本日の例会は皆様お待ちかねの柳原 健治会員の卓話で、題名は「困った時に思い出す」と  
なっています。何を一体 思い出されるのでしょうか？楽しみです。

さらに次週は、待ちに待った「お月見例会」です。きっときれいな満月を愛でることが出来る  
と信じています。その際のドレスコードですが、全く自由に上着も要らないと思います。その時の  
気温や気分でお気に入りの服装で結構です。観覧車に乗りますので、動きやすい服装で、お願い  
致します。楽しい「お月見例会」を皆様宜しくお願い致します。

また、10月に入りますと第1週には、「2023-2024年度クラブの現況」がデータでお見せ出来る  
と思いますので、プロジェクターに映して皆様と共にガバナー補佐アッセンブリーを開催したい  
と思います。第2週は井伊ガバナー補佐訪問となります。そして第4週に延原ガバナー公式訪問  
となります。ガバナー補佐及びガバナー訪問は、お互いの意見交換のまたとない機会ですので、  
何かご要望・ご意見があれば事前にお伝えください。

それと1つご報告があります。この「お月見例会」のご案内を関西大学の山本 英一様にも  
いたしました所「9月24日から10月1日まで、仕事でオランダ・ロッテルダムに参ります。」  
とのご連絡で海外出張の為、御不在となっています。そこで第3週10月19日の例会にご参加を  
お願いしました所、喜んで参加しますとのメールを頂きました。以上10月も様々な内容の濃い例会  
となります、皆様ご都合をつけてご出席宜しくお願い致します。



<委員会報告>

山本 友亮 親睦委員長

来週 9月 28日の「お月見例会」ですが、集合時に点呼を取りますので、参加される方はそれぞれの集合場所をお知らせ下さい。

- ①万博記念公園駅改札を出たところに 17:45      ②観覧車乗り場に 17:50

<出席報告>

黒川 彰夫 SAA

会員数（内出席免除会員 1名）      19名  
本日の出席者数      12名  
（内出席免除会員 1名      名誉会員 0名）  
本日の出席率      63.16%

<ロータリーソング>

全会員

♪それどこそロータリー♪

<本日のピアノ曲>      近藤 美里さん

1. やわらかい日差しの中で
2. My One And Only Love
3. ミモザ

<幹事報告>

水島 洋 幹事

1. ハワイ州マウイ島山火事支援金について、地区ガバナーより案内が参っておりますが、支援金はハワイの指定銀行口座へ直接振り込むこととなりますので、理事会で協議してから決定致します。

2. 過日、高槻 RC より例会場及び事務局のビル名称変更のお知らせがありました  
◎高槻阪急から高槻スクエアに変更  
高槻東 RC 高槻西 RC からも、それぞれ同様のお知らせがありました。  
・高槻東 RC→例会場及び事務局      ・高槻西→例会場のみ

3. 大阪南 RC より例会場及び事務局住所変更のお知らせがありました。

【新例会場】センタラグランドホテル大阪 3階「オーキッドボールルーム」

10/3(火)～      〒556-0011 大阪市浪速区難波中 2-11-50      TEL : 06-6616-9945

【新事務局住所】マルニビル 7階 B

11/29(水)～      〒556-0004 大阪市浪速区日本橋西 1-2-11  
TEL : 06-6647-6236      FAX : 06-6647-6237

<本日のお料理>



- 1.雲白肉
- 2.トマト入り卵スープ
- 3.春巻
- 4.海老、茸、野菜炒め
- 5.茄子、春雨、鶏のガーリック蒸し
- 6.牛ミンチとレタスのチャーハン
- 7.マンゴープリン

<SAA 報告>

木下 健治 SAA 補助

※ラオス基金

黒川会員                      オリックスもおめでとう！！

※ロータリー財団

高尾会員                      柳原会員、卓話よろしく！  
相原会員                      昨夜「六甲おろし」を歌って来ました。  
柳原会員                      今日は楽しい卓話です。

※米山記念奨学会

水島会員                      柳原会員、卓話よろしくお願ひします。  
水本会員                      少し秋らしくなってきました。  
柳原会員                      卓話！    ロベたなので、いやだな～  
高尾会員                      コメントなし

※メイプル基金

藤田会員                      柳原会員    本日の卓話楽しみです！！  
山本会員                      柳原会員、本日よろしくお願ひします。  
黒川会員                      克子さん    頑張ってます！！

<ファインセッション>

水本 徹 SAA 補助

例会場扱金    ¥10,866



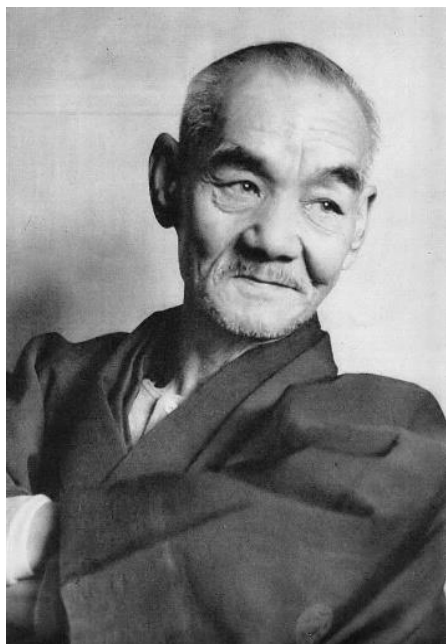
<卓話>

「困った時に思い出す…」

柳原 健治 会員

皆さんは、「三木武吉」氏をご存知でしょうか。この方の生涯は1884年（明治17年）8月15日～1956年（昭和31年）7月4日であり、戦前から戦後にかけて活躍された政治家であります。そして衆議院議員を11期務め、鳩山一郎の盟友で、自由民主党結党による保守合同を成し遂げた最大の功労者であるとされています。

しかし、私が皆様にご紹介したいのは、この方の数々のエピソードであります。そして、その中には、滑稽であるだけでなく、何か一本「筋の通った」ような、痛快さを感じるものがあります。



まず、この方の、青年期からの数々の「逸話」であります。次のようなものがあります。この方は、最初は当時の高松中学に在籍したのでありますが、中学2年の時に「うどん食い逃げ事件」の首謀者として、退学に追い込まれます。次の学校(同志社中学)でも、乱闘事件を起こして放校処分を受けてしまいます。普通の「おとなしい」人間には、考えられないような「乱暴者」であります。そして、1901年に星亨代議士の下で、「書生」となるため上京しますが、いわゆる「罰」が当たったものか、当の星さんが暗殺されてしまいました。何処へも行くところが、亡くなってしまいました。しかし、捨てる神あれば拾う神あります。何とか、新しい学校(⇒東京専門学校)に潜り込む事が出来て、一安心となりました。その後、日本銀行(門司支店)に就職が決まりました。

しかし、公務員の道を踏み出したものの、生来の「やんちゃぶり」は抜けませんでした。おりしも、1905年、何とかロシアに勝った日本には、「賠償金」「領土」などを欲しがる国民が、「山の様」に出現し、政府相手に「勇ましい演説」を行う人々が後を絶ちませんでした。われらが三木武吉さんも、当然、この「熱狂」に感化されないワケがありません。ついに、政府弾劾演説に「飛入り参加」し、大勢の聴衆から「ヤンヤ」の声援を受けました。ところが、意気揚々と門司支店に帰った彼を待っていたものは、公務員としての服務違反による「解雇」でありました。

その後、一生懸命勉学に励み、今で言う「司法試験」に合格し、代議士としての道を歩むこととなりました。初当選した1917年(大正6年)の第13回衆議院議員総選挙の演説会においては、敵対する議員の、坪谷善四郎が「名前は言わないが、某候補は家賃を2年分も払っていない。米屋にも、1年以上ためている。このような男が、国家の選良として、議政壇上で、国政を議することができるではありませんか。この一事をもってしても某候補のごときは、いさぎよく立候補を辞退すべきものと、私は信ずるのであります」と三木さんを批判しました。

すると三木さんは次の演説会場で、「某候補がしきりと、借金のあるものが立候補しているのはけしからんと、攻撃しているそうだが、その借金がある某候補とは、かく言う不肖この三木武吉であります。三木は貧乏ですから、借金があります。米屋といわれたが、それは山吹町の山下米屋であります。1年以上借金をためているといわれたがそれは間違いで、じつは2年以上もたまっております。家賃もためているのは2年以上ではない。正確にいきますれば、3年以上も支払いを待ってもらっておるわけです。間違いはここに正しておきます」と反論し、会場は拍手と爆笑に包まれ、「えらいぞ、借金王」と野次が飛んだそうです。その会場には、三木さんの大家や借金先の山下米店の主人山下辰次郎も来ており、その後、促されて両者とも立ち上がりました。その時山下さんが「私は米屋の山下です。どうか皆さん、三木先生をご支援願います」と述べ、すっかり参った坪谷はそれ以来三木の借金の話をしなくなったそうです。

また、衆議院議員に当選した三木さんは頭角を現し、特に舌鋒鋭く政府を批判し、「ヤジ將軍」の名をほしいままにしたそうです。(大正9年)6月29日から開会された第43議会では、原敬内閣の大蔵大臣高橋是清が海軍予算を説明中、「陸海軍共に難きを忍んで長期の計画と致し、陸軍は十年、海軍は八年の…」と言いかけるや「ダルマは九年!」と飛ばしたヤジは余りにも有名となっています。

戦後、公職追放解除後の第25回衆議院議員総選挙では、選挙中の立会演説会で対立候補の福家俊一から「戦後男女同権となったものの、ある有力候補のごときは妾を4人も持っている。かかる不徳義漢が国政に関係する資格があるか」と批判されました。ところが、次に演壇に立った三木さんは「私の前に立ったフケ(=福家)ば飛ぶような候補者がある有力候補と申したのは、不肖この三木武吉であります。なるべくなら、皆さんの貴重なる一票は、先の無力候補に投ぜられるより、有力候補たる私に…と、三木は考えます。なお、正確を期さねばならので、さきの無力候補の数字的間違いを、ここで訂正しておきます。私には、妾が4人あると申されたが、事実は5人であります。5を4と数えるごとき、小学校一年生といえども、恥とすべきであります。1つ数え損なつたとみえます。ただし、5人の女性たちは、今日ではいずれも老来廃馬と相成り、役には立ちませぬ。が、これを捨て去るごとき不人情は、三木武吉にはできませんから、みな今日も養っております」と愛人の存在をあつさり認め、さらに詳細を訂正し、聴衆の爆笑と拍手を呼んだ。この選挙では三木さんがトップ当選を果たし、福家候補は最下位で落選したそうです。

思いますが、人生山あり谷あり、失意の時も逆境に陥るときも、数多くあると考えます。特に「私」などは、その様な時の「非常に多い」人間であると、自負しております。困ったときに、また、追い込まれたときに、堂々と開き直って「言いたいこと」を表明する事の出来た、この三木武吉先生に、心からの拍手を差し上げたいものと感ずる次第であります。

